



熊切 和人 議員《自民党・いさま》

祭囃子と入谷歌舞伎の 伝統文化継承について

伝統芸能を継承する団体にとつての深刻な問題は、子供の会員数の減少、高齢化、後継者不足と聞いています。対策を講じなければ、本市に伝わる文化、伝統芸能が衰退してしまう懸念があります。私が所属する皆原はやし保存会では、毎年1回、入谷小学校に授業の一環としておはやしを教えに行っています。実際に太鼓をたたき、太鼓の音を

教育課程に取り入れるようにするなど、教育委員会の伝統芸能継承のための強い姿勢が必要と思いますが、教育長の見解を伺います。

教育長 各学校がそれぞれの特徴を生かした郷土愛を育む取り組みを行っており、市内各地の祭囃子や入谷地区に伝わる地芝居を総合的な学習の時間などの機会に取り入れている小学校もあります。郷土愛を育む教育については、教育委員会としても推進し、各学校の持つ教育課程の編成権は今後も尊重していく中で、伝統芸能を継承する関係団体の活動もあわせて支援をしていきたいと思っています。

間近で聞くと、児童たちは大変喜び感動し、またやりたいとの声が多く聞かれました。伝統芸能の継承は、実際に触れ合うことが大事だと思います。伝統芸能の継承のため、入谷歌舞伎においても、

幼児期の発達障害を早期発見、早期対応するためにも本市において5歳児健診は必要と考えます。軽度発達障害に3歳6カ月児健診で気づくことには限界があり、5歳児健診が発見に有用とされています。本市としても調査、研究を進めていると思いますが、これまで分析してきた内容や、今後どのように考えているのかお聞かせください。

健康部長 軽度発達障害は、3歳6カ月児健診では問題がなくても、保育園や幼稚園に入園した後や5歳児健診において発見される割合が高くなることから、5歳児健診の有意性は十分理解しています。

5歳児健診の実施について、厚生労働省では各自治体の自主判断に任せており、平成27年度は全国で209市町村が実施しています。5歳児健診を実施するための体制については、医師の確保、専門スタッフの確保、関係機関の連携体制の構築など、課題が多くあります。本市では現在、保育園や幼稚園に就園している園児に心配がある場合、健康づくり課、障がい福祉課、保育課が連携して巡回相談の利用の促進を図っています。県内でも5歳児健診を実施している自治体があることは把握していますが、今後も国や県の動向を注視していきます。



高波 貴志 議員《自民党・いさま》

国際交流事業について

本市と在日米陸軍楽隊で共同開催されているクリスマスコンサートは大変好評で人気のあるイベントです。本格的な演奏や迫力のある歌声、多彩な演出に感動しました。市民と在日米陸軍キャンプ座間との国際交流の機会となる

による合同の合唱や合奏コンサートなどを企画し、日中に開催することを提案しますが見解を伺います。

教育長 合同コンサートなどキャンプ座間内の児童、生徒と交流するアイデアは多く考えられると思います。国際交流については、平成29年度に栗原小学校とアーン小学校が交流を始めた経緯もあります。交流の計画は、各学校が主体的に企画するものと考えていますが、企画、立案に対しての助言や関係部局との調整、必要に応じた財政措置など、教育委員会としてできる支援をしていきたいと考えています。



内藤 幸男 議員《自民党・いさま》

5歳児健診の必要性を問う

5歳児健診の実施について、

自然環境を生かした憩いの場という視点から、別名、菖蒲園など湿性植物園一帯の再整備と南管理棟の一般開放について伺います。また、水源涵養地としての芹沢公園の役割等を紹介する取り組みと栗原水源の有効活用について伺います。

芹沢公園再整備の実施時期についても伺います。

都市部長 湿性植物園は、せせらぎコーナーを含め湧水を循環させる仕組みを検討し、豊かな湧水に着目した再整備を検討したいと考えています。公園南側の管理棟は、周辺では来園者だけでなく花菖蒲を



伊藤 多華 議員《公明党》

アトピー性皮膚炎の正しい スキンケアの知識普及を！

現在、国民の約2人に1人がアレルギー疾患に罹患していると言われています。このような状況を鑑み、平成26年6月にアレルギー疾患対策基本法が成立し、平成29年3月には、アレルギー疾患対策の推進に関する基本指針が策定されました。アレルギー疾患であるアトピー性皮膚炎の治療の基本は、毎日の正しいスキンケアであり、発症を30%から50%減らせます。本市における医師や小児アレルギーエドクターなどによる正しいスキンケア講座の実施について、また、アレルギーの相談体制や正しいスキンケアの知識の普及啓発について、

見解を伺います。

健康部長 医師、小児アレルギーエドクターなどによるアトピー性皮膚炎のスキンケア講座の実施は、現時点では考えていませんが、研究していきたいと思っています。また、アレルギーの相談体制については専門職が相談を受けていますが、特にアトピー性皮膚炎のスキンケアは医療機関の治療方針に含まれる部分であるため、医療機関で適切な受診をするように勧めたいです。国の指針を受けて県は計画を策定中であり、市町村はまだ具体的な指示を受けていませんが、今後の動向を注視していきます。



安田 早苗 議員《公明党》

芹沢公園再整備について 自然環境と水源涵養地の視点で

芹沢公園再整備の実施時期についても伺います。

育てる会やホタルを守る会などが活動しており、休憩や市民活動醸成の場としての利用を考えていきます。また、芹沢公園の魅力を高めるため、公園内の水道施設を園内の案内板やパンフレットに掲載し、広く市民の方に紹介していきたいと考えています。再整備の実施時期については、平成30年度予算に盛り込んだ再整備計画の中で具体的な改修内容とともに検討していきます。

上下水道局長 栗原水源の常時開放は、セキユリティ上難しいと考えます。公園内の水道施設のPRについては、公園管理者と協議の上、検討していきたいと考えています。



池田 徳晴 議員《さま大志会》

教職員の多忙化を解消し、 児童、生徒に寄り添う取り組みを

教職員にとって何者にも代えがたい児童、生徒を預かる責務は非常に重たいもので、健やかな成長のために日々の教育活動に最善を尽くしている現状があります。子供たちと触れ合うことに生きがいと崇高な志を持つ教員のために、子供たちとしっかり向き合える時間を確保することこそ行

し、生徒指導などで8名を任用しています。市費では17名の非常勤講師、27名の介助員、17名の特別支援教育補助員を配置しています。また、校務支援システムの導入により、通知表や出席簿、指導要録などの校簿作成事務が簡素化し、事務処理が軽減されています。課題として、定数だけでは足りない人材を加配や非常勤講師で補っていますが、課題解決には教職員の定数増加が必要であり、今後も国、県へ要望を続けていきます。また、校務支援システムの改善を重ね、より使いやすいシステムの構築と教職員への定着を図れるよう努めていきます。

教育長 教職員の負担軽減に向けての取り組みとして、県費で教科指導などの負担軽減につながる人員を31名配置

本会議の概要

▽2月22日 開会、会期決定、会議録署名議員指名、議案上程・提案説明

▽2月23日 総括質疑・委員会付託、陳情上程・委員会付託、報告上程・質疑

▽3月2日 一般質問

▽3月5日 一般質問

▽3月6日 一般質問、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託

▽3月23日 委員会審査報告・質疑・討論・採決、継続審査案件上程、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託省略

・討論・採決、常任委員会等の所管事務調査、議員派遣、議員提出議案上程・提案説明・質疑・委員会付託・討論

省略・採決、閉会

なお、総括質疑、討論は、次の議員が行いました。

総括質疑(2月23日)

竹田陽介(自民党・いさま)、上沢本尚(公明党)、中澤邦雄(日本共産党)、沖本浩二(さま大志会)、佐藤弥斗(さま明進会)、安海のぞみ(会派に属さない議員)、加藤陽子(会派に属さない議員)、沖永明久(会派に属さない議員)

討論(3月23日)

中澤邦雄(日本共産党)、沖本浩二(さま大志会)、加藤陽子(会派に属さない議員)、佐藤弥斗(さま明進会)、沖永明久(会派に属さない議員)、上沢本尚(公明党)、萩原健司(自民党・いさま)、安海のぞみ(会派に属さない議員)